

自動車管理(計画・変更計画書・報告)書

令和 6年 8月 2日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
彦根市元町4番2号
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
彦根市長 和田裕之

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第44条第3項において準用する同条例第25条第3項・
第46条第1項・ 第46条第2項において読み替えて準用
第45条第1項
第46条第2項において準用する同条例第45条第1項

~~第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項~~
~~する同条例第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項~~

の規定に基づき、

自動車管理計画を 策定 (変更)
自動車管理報告書 を作成

 しましたので、提出します。

1 事業者に関する事項

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	彦根市 彦根市長 和田 裕 行		
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	彦根市元町 4番 2号		
県内事業所数	17	事業所	
県内自動車使用台数	202	台	
自動車の使用に伴う温室効果ガス排出量	353.319924	t-CO ₂	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	4	年度	終了年度	8	年度
報告対象年度	5 年度					

3 計画(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

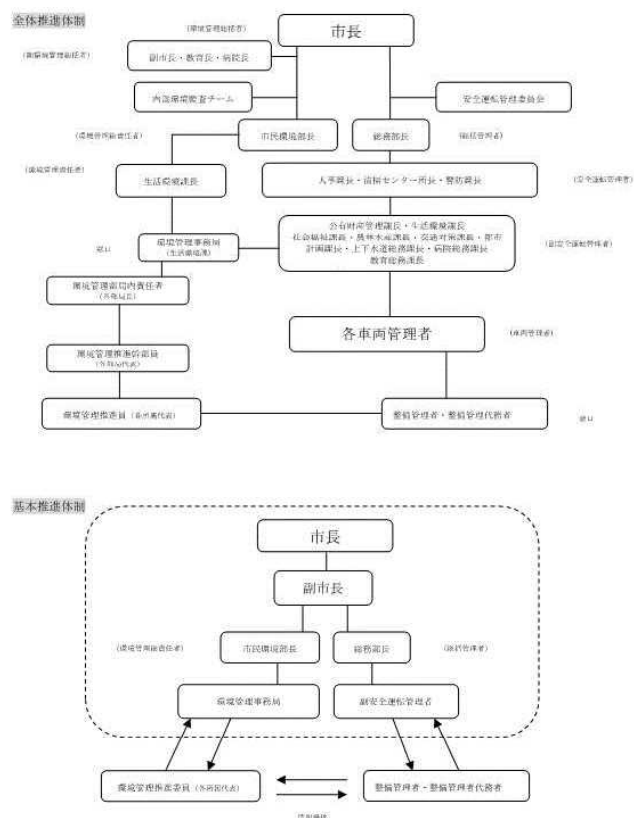
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

彦根市では、自動車運行における環境配慮行動が地球温暖化や生活環境への影響を緩和する上で重要であることを認識し、次の取組みを進めていきます。

同時に私たち彦根市職員は、環境保全活動を積極的に推進し、地方公共団体として地域の低炭素社会の構築に努めてまいります。

- 1、公用自動車の利用における効率化と合理化を進めます。
- 2、集中管理車化を進め、市全体の台数削減に努めると共に、公用自動車の利用状況等を庁内Web等で発信することで効率化と合理化を進めます。
- 3、公用自動車の小型化と電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)、ハイブリッド自動車(HV)、燃費改善対策装置等の装着車(第三のECOカー)、低燃費かつ低排出ガス認定ディーゼル自動車等の、より温室効果ガス排出量の少ない自動車への転換を進めます。
- 4、公用自動車については、リース(長期継続契約)による導入を推進し、乗換え時期等や経費等の平準化を進めます。
- 5、ディーゼル車両の使用燃料については、バイオディーゼル燃料(BDF)の使用を促進し、併せて廃食用油(使用済みてんぷら油等)の回収も促進します。
- 6、急発進や急加速、急ブレーキや急ハンドル等による燃費悪化をしないよう安全運転とエコドライブの両立を徹底します。
- 7、ドライブレコーダー等のデータ分析結果を、職員の運転技術向上に反映します。
- 8、本計画は、環境マネジメントシステムEMSの取組として、目標の達成に努めます。
- 9、近距離の移動については、公用自転車を活用するよう職員に呼びかけます。

全体推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

3 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の削減に関する取組の内容

項目	取組の内容	目標達成確認指標				実施結果
			現状	目標	CO ₂ 排出量 削減目標(%)	
自動車使用の 合理化	公用自動車ごとの 走行距離、燃料消費 量、利用回数等の データベースによる 自動車利用の合理 化 職員が利用多数な車 種と、車両の小型化	公用自動車 運転月報告 書	報告書の提出	電子化		報告書の提出を徹底 車両使用状況を電子化ア プリにより管理し、集計や 分析の敏速化した 旧車両からの乗換え予算 資料として各課へ通知し、 全車両の利用数と走行距 離を基に適正な台数の資 料とし減車に努めた。
より温室効果ガ ス排出量が少な い自動車の導 入	ハイブリッド(HV) 自動車の導入	導入台数	25台	30台		低公害車の総数につ いては前年度比を上 回る88% 25 台
	燃費改善対策装置 自動車(第三のエコ カー)等の導入	導入台数	40台	維持		低公害車の総数につ いては前年度比を上 回る88% 40 台
次世代自動車 等の比率を増 やす取組	電気自動車(EV)・ プラグイン(PHV) 自動車導入	導入台数	1台	維持		維持 引続き納入を検討・推 進 1 台
従業員に対する 自動車使用に 伴う温室効果ガ ス排出削減に関 する教育	全公用自動車ヘド ライブレコーダー車載 器設置に伴い、安全 運転の効果による 急発進、急停止、急 加速を防止する。	ドライブレ コーダー運 用システム の整備	全車導入に 伴い運転状 況の分析 新規種々へ の移行促進	研修資料の 更新 新たな研修 資料の作成		ガソリン83,955.72ℓ 軽油61,481.5ℓ コロナ化の収縮に伴い停 止していた業務等の再開 によりガソリン増大。 軽油については減少。 電子化データを利用した事 故等による迅速な資料提 供。 月／1回の安全運転委員会 を開催。
		EMS報告 を基に燃料 消費量を集 計	ガソリン 73,105.6 1ℓ 軽油 72,778. 5ℓ	5%減(5年 間)		
その他の取組	公用自転車の更なる 職員利用を促進 する。 併せて、充実した配 備と適正な整備を する。	職員への徹 底 呼びかけの 徹底	徹底	徹底		職員にエコへの一定の意 識が定着したため、前年度 推移を持続。 使用時はヘルメット装着を 義務化。
		充実した配 備と適正な 整備	徹底	徹底		公用自転車(集中管理車) 整備を実施。 ヘルメットの配備
				合計		

備考 現状や目標については、内容に応じ文章で表現しても構いません。